

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	環境厚生常任委員会		会議場所 第1委員会室 担当職員 山末
日 時	令和2年3月5日(木曜日)		開 議 午前 10 時 00 分 閉 議 午後 0 時 15 分
出席委員	◎並河 ○大塚 長澤 富谷 平本 三宅 小松 西口		
理事者 出席者	【環境市民部】 由良部長 [環境政策課] 山内課長、大倉環境保全担当課長、明田主幹、亀井施設管理係長 [環境クリーン推進課] 大西課長 [市民課] 増田課長、齋田受付係長 [保険医療課] 荻野課長、吉野高齢者医療係長、藤谷国保給付係長 【健康福祉部】 河原部長 [地域福祉課] 佐々木課長、中野副課長、的場福祉総務係長 [障害福祉課] 俣野課長、吉田副課長 [高齢福祉課] 山内課長、松本副課長、木村介護保険係長、山口高齢者係長 [健康増進課] 大西課長、入江健康管理係長 【子ども未来部】 高橋部長 [子育て支援課] 森岡課長、酒井子ども政策係長 [保育課] 阿久根課長 【市立病院】 玉井病院事業管理者、佐々木管理部長 [病院総務課] 松村課長、山下管理係長		
事務局	山末主査		
傍聴者	市民 0名	報道関係者 2名	議員0名

会 議 の 概 要

1 開 議

2 事務局日程説明

3 議案審査

[理事者入室] 市立病院

(1) 第67号議案 令和元年度亀岡市病院事業会計補正予算(第2号)

<病院事業管理者>

(あいさつ)

<病院総務課長>

(資料に基づき説明)

～10:11

[質疑]

<小松委員>

もしも新型コロナウイルスの感染者が市立病院で診察を受け、院内感染が発生した場合、どの程度の損失があるのか。

<病院事業管理者>

業務が全てストップすることとなるため、その間は収入がゼロとなる。その期間がどれだけになるのかということであり、複雑なものではないと考えるが、そういう方向にならないよう努力するのが現在の状況である。

<西口委員>

小・中学校が休校となっているが、その影響はあるのか。

<病院事業管理者>

現在のところ大きな変化はない。

<平本委員>

新型コロナウイルスについて、電話の問い合わせはあるのか。

<管理部長>

1月末頃に2件程度、2月に数件程度であり、あまり増えていない。京都府にはかなりの相談があると聞いている。

<富谷委員>

外来収益が増加しているが、整形外科の外来が増えたのか。

<病院事業管理者>

整形外科だけでなく、内科、外科においても増えている。

<三宅委員>

今シーズンのインフルエンザの状況は。

<病院事業管理者>

例年であれば、1～2月に大きく増えるが、今年はそれほど増えていない。1月の前半に、院内で患者がインフルエンザに感染し、2つの病棟のうち1つの病棟で入退院をストップするという形が4日間続いた。現時点で例年より少ないと断定はできないが、学校が休校となっている関係もあり、少なくなるのではないかと予想している。

<三宅委員>

インフルエンザはいつ頃終息するものなのか。

<病院事業管理者>

一般的には3月末からゴールデンウィーク前あたりである。

[理事者退室]

～10:24

[理事者入室] 環境市民部

(1) 第61号議案 令和元年度亀岡市一般会計補正予算(第5号) 所管分

<環境市民部長>

(あいさつ)

<各課長>

(資料に基づき説明)

～10:50

[質議]

<平本委員>

P 3 5、喫煙ブースの設置について、当初予定していた場所が使用できなくなったということだが、なぜ使用できなくなったのか。

<環境政策課長>

もともと灰皿を設置していた場所の横に J R が所有している土地があり、その場所で調整していたが調整がつかなかった。また、その近くの保線区に入る部分にコンクリート舗装がなされていないところがあったのだが、保線区の管理上難しいとのことであった。警察のところの窪んでいる部分についても、いろいろな配線が集中していることから断念した。駐輪場の近くの道路側にスペースがあるのだが、地下が空洞になっているために建物を建てることができないとのことであった。そのようなこともあり場所選定に時間を要した。最終的には、駐輪場の横の電話ボックスから駐輪場側に寄せた場所で検討している。しかし、駅前には防火地域になるため、施設の仕様を再検討するに至った。

<平本委員>

当初予定していた場所に設置できれば補正は必要なかったということか。

<環境政策課長>

防火地域になるため、仕様としては補正で計上した形になる。

<平本委員>

J T 等からの補助はないのか。

<環境政策課長>

パーテーションのような形ではなく、建物として設置するため、J T 等の民間の補助はない。国においても、民間の施設に対する補助はあるが、公的な設備に対する補助はない。

<平本委員>

パーテーションのような形であれば補助があるのか。

<環境政策課長>

J T の考え方として、京都駅のような形であれば支援が可能であるとのことであった。我々と J T の考え方に距離があったため、補助を受けるに至らなかった。

<長澤委員>

駅南の東側の階段を下りた部分の土地はどこが管理しているのか。

<環境政策課長>

土地所有者は J R だが、歩道であるため亀岡市が管理している。

<長澤委員>

P 4 3、火葬場等経費について、地質調査は今年度で終了するのか。

<環境政策課長>

現地調査と地質調査は今年度の事業である。

<長澤委員>

調査結果はどのようにまとめ、発表するのか。

<環境政策課長>

まだ報告書はいただけていないが、結果については報告していきたいと考えている。

<三宅委員>

喫煙ブースの設置のスケジュールはどのようになるのか。

<環境政策課長>

新年度に入札を執行し、極力早く設置したいと考えている。

<西口委員>

当初、予算を計上していた段階で、防火地域であることは把握していなかったのか。

<環境政策課長>

最初に予定していた仕様で問題ないと考えていたが、認識の甘さがあった。

<長澤委員>

先ほどの火葬場の件に戻るが、地質調査はどのように行ったのか。

<環境政策課長>

上の天端にポイントを設け、ボーリングを行うものである。

<長澤委員>

深さはどの程度なのか。

<環境政策課長>

深さは約10メートル程度であり、5ポイントで行っている。

<富谷委員>

P39、在日外国人無年金者対策経費について、現在は何人いるのか。

<市民課長>

平成30年までは2名が受給していたが、平成30年中に2人とも亡くなられた結果、該当者がなくなった。

<西口委員>

喫煙ブースについて、これは建築確認が必要でない建物なのか。

<環境政策課長>

建築確認が必要な施設である。申請の内容を確認した時に、当初の仕様では基準を満たさないことがわかった。

<小松委員>

P45、塵芥処理事務経費について、ごみ袋の販売が消費税の増税前に増えたということだが、1年を通すとほぼ変わらない状況なのか。

<環境クリーン推進課長>

ごみの量は減っているが、ごみ袋の数はそれほど変化がない。

<小松委員>

P53、消費生活対策経費について、嘱託職員の勤務が減ったのか。

<市民課長>

週5日体制で予算を組み、募集も行っていたが、応募がなく、週4日であれば来ていただけるとい人がいたため、今年度は週4日体制となっている。

<小松委員>

週5日が週4日になると影響はあるのか。

<市民課長>

消費者はいつでも相談に来られるため、消費生活相談員が休みの場合は京都府に相談を依頼したり、次の日に連絡をしたりするなどの工夫を行っている。

<小松委員>

来年度は週5日になるのか。

<市民課長>

来年度も週5日で予算を計上し募集を行っているが、現在のところ応募がない。資格を必要とし、京都府も募集を行っているため、取り合いになっている。

<大塚副委員長>

P45、し尿処理施設管理経費について、国道9号若宮橋の架け替えの工法変更によるものだと思うが、どのような苦情により工法を変更するのか。

<環境クリーン推進課長>

苦情が出ているわけではない。国で設置する対策委員会において、橋を壊す際に振動がかなり出るということで、苦情が出ることを見越してチェーンソーで切断していくような工法となったものである。

<大塚副委員長>

これによって期間が延期とならないのか。

<環境クリーン推進課長>

期間については、7月までに完了する予定である。

～11:09

(2) 第62号議案 令和元年度亀岡市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

<環境市民部長>

(概要説明)

<保険医療課長>

(資料に基づき説明)

[質疑なし]

[理事者退室]

～11:18

<休憩 11:18～11:23>

[理事者入室] 健康福祉部

(1) 第61号議案 令和元年度亀岡市一般会計補正予算(第5号) 所管分

<健康福祉部長>

(あいさつ)

<各課長>

(資料に基づき説明)

～11:33

[質疑]

<長澤委員>

P37、社会福祉事業基金について、基金の使い道は。

<地域福祉課長>

補正で計上している3億5520万円のうち、3億5500万円はふるさと力向上寄附金である。ふるさと力向上寄附金は当初予算に計上せず、全て今回で積み立てることとなっている。使い道については、日本一子育てがしやすいまちをつくる事業に関する寄附金であり、子育て支援部門に使われる可能性が高いと思われるが、詳細は把握していない。

<大塚副委員長>

P39、介護・訓練等給付費とは具体的にどのようなものか。

<障害福祉課長>

障がいのある人や児童の福祉サービスであり、例えば、児童であれば児童発達支援、障がい者であれば居宅支援や居宅介護等のサービスの経費である。

～11:37

(2) 第63号議案 令和元年度亀岡市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)

<高齢福祉課長>

(資料に基づき説明)

～11:48

[質疑]

<大塚副委員長>

地域支援事業が全体的にかなり減額されているが、その理由は。

<健康福祉部長>

分析は行っていない。

<大塚副委員長>

P12、地域密着型介護サービス給付経費が減額となっている理由は。

<高齢福祉課長>

平成30年からスタートした介護保険事業計画が2年目となっている。計画に基づいて予算を計上しているが、利用が想定よりも進まなかったことによるものである。今回は施設サービスや施設整備を行っている関係もあり、そちらに利用者が流れたものと考えている。

<大塚副委員長>

P16、介護予防・日常生活支援総合事業経費が減額となっているのはなぜか。

<高齢福祉課長>

C型事業について、今年度の前半については少し利用があったが、6月から11月までは利用者がなかった。現在は1人の利用者がある。回数が減ったために減額となっている。

[理事者退室]

～11:52

[理事者入室] こども未来部

<こども未来部長>

審査の前に、新型コロナウイルス感染症予防に対する保育所の対応について報告を行う。

<保育課長>

現在、小学校等が国の要請により休校となっているが、保育所においては、国が示すとおりの原則開所することとなっている。亀岡市においても、公立・私立を問わず保育所を開所している状況である。ただし、感染リスクを防止する観点や、保育士が小学校等の休校により休むことにより、保育士が不足する懸念があることから、現在、亀岡市では、保護者の皆さんに家庭での保育の協力をお願いしている。家庭での保育が可能な場合は協力をお願いし、夕方のお迎えについてもできる限り早く

来てもらえるようお願いしている。それに伴い、亀岡市では、保護者が負担する3月の保育料及び副食費については、方法等は調整中であるが、保育利用のない日を日割り計算することとして対応したいと考えている。今後、市内において感染が発生した場合の対応について、厚生労働省の通知に基づき自主登園とする、あるいは状況によって臨時休園とすること等をホームページに掲載し、保護者にお知らせを行っている。

～11:56

[質議]

<平本委員>

現在のところは保育士の確保に大きな影響はないのか。

<保育課長>

公立保育所については大きな混乱はない。

～11:57

(1) 第60号議案 令和元年度亀岡市一般会計補正予算(第5号)所管分

<各課長>

(資料に基づき説明)

～12:11

[質議]

<小松委員>

P41、児童手当経費について、減少幅は大きいのか。

<子育て支援課長>

毎年出生数が減少傾向にあるので、今後についても減少率を見込んだ上で対応していきたい。

<平本委員>

転入・転出の数に違いはあるのか。

<子育て支援課長>

それほど大きな違いはない。

[理事者退室]

～12:12

4 討論・採決

[討論なし]

[採決]

第61号議案	挙手	全員	可決
第62号議案	挙手	全員	可決
第63号議案	挙手	全員	可決
第67号議案	挙手	全員	可決

[指摘要望事項]

<並河委員長>

指摘要望事項について、意見はあるか。

<平本委員>

先ほども言ったが、J R 亀岡駅南口の喫煙ブースについて、関係部署等としっかりと連携を図るよう要望すべきではないかと思う。

<事務局主査>

委員長報告の中で意見として付するのか、指摘要望事項とするのかについて協議願いたい。

<平本委員>

指摘要望事項としてではなく、委員長報告の中で意見を述べる程度でよいと思う。

<並河委員長>

それでは、そのように取り扱うこととする。

～ 12 : 14

5 その他

<並河委員長>

次の委員会は、3月6日午前10時から、第47号議案 亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例の議案審査を行う。

散会 ～ 12 : 15